

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	(3回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	賀集野田 (賀集野田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	25.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	19.6 ha
② 田の面積	23.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.1 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当該地域農業形態は水稲(表作)及び秋冬野菜(裏作)として玉葱、白菜、キャベツ等と一部、施設園芸(ビニールハウスによる)イチゴ、トマト等を栽培しています。

農地の現状は、基盤整備が出来ておらず、狭小田、形状の悪いほ場が点在しています。

農道についても、道幅が狭く車の対抗が出来ず作業効率が非常に悪いのが実情です。

山裾に近いほ場では鳥獣被害が多発しており、耕作放棄しているほ場もあります。

課題としては、耕作者の高齢化が進み、5年後くらいからかなりのほ場が耕作放棄されると思われます。

現在の耕作者の年齢は40代:5名、50代:5名、60代:12名、70代:5名、80歳代5名となっており、この事からほ場整備事業を早く進める必要があります。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

高齢化が進む中、若い担い手への引継ぎが急務になるので、人材育成には地域ぐるみで支援をする仕組み作りに取り組んでいきたいと思います。

水稲においては、地域の共同栽培を考えています。また、作業効率、経費節減のためにスマート農業化にも取り組みたいと思います(自動給水、排水装置の設置、トラクターの自動操舵、リモコン草刈機、ドローン農業散布等)。

栽培作物の地域ブランド化(ひょうご安心ブランドの取得等)や食品ロスを無くすためにB品による加工品の開発等にも取り組みたいと思います。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
ほ場整備事業が進めば、ほ場整備事業区域内の農地を全て農地中間管理機構に貸付けを行う。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	17.5 %	将来の目標とする集積率	65.1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在、進めているほ場整備事業計画図面に担い手耕作者の貼付けを行い、ほ場整備事業区域内の集積率8割以上を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
現在、進めているほ場整備事業計画図面に担い手耕作者の貼付けを行い、ほ場整備事業区域内の集積率8割以上を目指す。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
当地域のほ場整備事業は農地中間管理機構関連事業であるため、事業採択がされれば速やかに農地中間管理機構に農地を預ける手続きを進める。
(3) 基盤整備事業への取組
ほ場整備事業により大区画ほ場のスマート農業化(自動給排水、リモコン草刈機等の導入)、ほ場整備事業区域外については、別補助事業によるパイプ配管工事等を考える。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
現在、認定農業者2名、認定候補者5名の他、農業法人1社、1営農組合を経営体として予定している。また、新規就農者への就農支援組織の構築を考えています。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在は農家個々に支援依頼をしている。 今後は地域内に農作業支援組織を設立して、当該組織に作業依頼ができるような体制の構築を目指したい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①山裾に新たに柵の設置を行う。
- ②化学農薬や化学肥料の使用を削減して、地域内の農産物でひょうご安心ブランドの取得を目指す。
- ③自動給排水機器の設置、リモコン草刈機、自動操舵トラクター、ドローンを導入する。
- ⑤地域の若い担い手、シルバー人材と共に連携して地元の活性化に繋げたい。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
別紙のとおり									
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	水稲、露地野菜	1.03 ha	ha	水稲、露地野菜	1.28 ha	ha	2	
2	利用者	水稲、露地野菜	0.16 ha	ha	水稲、露地野菜	0.16 ha	ha	3	
3	利用者	水稲、露地野菜	0.08 ha	ha	水稲、露地野菜	0.08 ha	ha	4	
4	利用者	水稲、露地野菜	0.57 ha	ha	水稲、露地野菜	0.35 ha	ha	5	
5	利用者	水稲、露地野菜	0.22 ha	ha	水稲、露地野菜	0.06 ha	ha	6	
6	認農	水稲、露地野菜、 ハウス栽培(トマト)	3.08 ha	ha	水稲、露地野菜、 ハウス栽培(トマト)	4.30 ha	ha	8	
7	利用者	水稲、露地野菜	0.82 ha	ha	水稲、露地野菜	1.45 ha	ha	9	認農候補
8	利用者	水稲、露地野菜	0.96 ha	ha	水稲、露地野菜	0.96 ha	ha	11	
9	利用者	水稲、露地野菜	1.08 ha	ha	水稲、露地野菜	1.05 ha	ha	12	
10	利用者	水稲、露地野菜	2.75 ha	ha	水稲、露地野菜	2.97 ha	ha	13	認農候補
11	利用者	水稲、露地野菜	0.51 ha	ha	水稲、露地野菜	0.32 ha	ha	14	
12	利用者	水稲、露地野菜	0.35 ha	ha	水稲、露地野菜	0.35 ha	ha	15	
13	利用者	水稲、露地野菜	0.04 ha	ha	水稲、露地野菜	0.03 ha	ha	16	
14	利用者	水稲、露地野菜	0.17 ha	ha	水稲、露地野菜	0.09 ha	ha	19	
15	利用者	水稲、露地野菜	0.15 ha	ha	水稲、露地野菜	0.02 ha	ha	22	
16	利用者	水稲、露地野菜	0.53 ha	ha	水稲、露地野菜	0.00 ha	ha	23	
17	利用者	水稲、露地野菜	1.09 ha	ha	水稲、露地野菜	0.98 ha	ha	24	認農候補
18	利用者	水稲、露地野菜	0.15 ha	ha	水稲、露地野菜	0.05 ha	ha	25	
19	利用者	水稲、露地野菜	0.74 ha	ha	水稲、露地野菜	0.19 ha	ha	26	
20	利用者	水稲、露地野菜	0.44 ha	ha	水稲、露地野菜	0.25 ha	ha	27	
21	利用者	水稲	0.81 ha	ha	水稲	0.42 ha	ha	30	
22	利用者	水稲、露地野菜	1.63 ha	ha	水稲、露地野菜	0.48 ha	ha	31	
23	利用者	水稲、露地野菜	0.07 ha	ha	水稲、露地野菜	0.03 ha	ha	32	
24	利用者	水稲	0.78 ha	ha	水稲	0.53 ha	ha	33	
25	利用者	水稲、露地野菜	1.41 ha	ha	水稲、露地野菜	1.42 ha	ha	35	認農候補
26	利用者	水稲、露地野菜	0.07 ha	ha	水稲、露地野菜	0.07 ha	ha	39	
27	利用者	露地野菜	0.14 ha	ha	露地野菜	0.07 ha	ha	41	
28	利用者	水稲、露地野菜	0.39 ha	ha	水稲、露地野菜	0.19 ha	ha	43	
29	集	水稲、露地野菜	ha	0.30 ha	水稲、露地野菜	ha	0.16 ha	44	
30	利用者	露地野菜	0.04 ha	ha	露地野菜	0.04 ha	ha	46	
31	利用者	露地野菜	0.10 ha	ha	露地野菜	0.07 ha	ha	47	
32	認農	露地野菜	0.27 ha	ha	露地野菜	0.19 ha	ha	48	
33	利用者	露地野菜	0.02 ha	ha	露地野菜	0.02 ha	ha	49	
34	利用者	水稲、露地野菜	0.24 ha	ha	水稲、露地野菜	0.06 ha	ha	51	
35	利用者	水稲、露地野菜	0.47 ha	ha	水稲、露地野菜	1.03 ha	ha	52	認農候補
36	認農	水稲、露地野菜	0.43 ha	ha	水稲、露地野菜	0.43 ha	ha	55	
37	利用者	水稲、露地野菜	ha	ha	水稲、露地野菜	2.53 ha	ha	56	認農候補
	計	0経営体	21.8 ha	0.30 ha		22.5 ha	0.16 ha		